第4期特定健康診査等実施計画

(令和6年度～令和11年度)

CTCグループ健康保険組合

令和6年 4月

第一 特定健康診査等の実施方法に関する基本的な事項

一 特定健康診査・特定保健指導の実施方法に関する基本的な事項

1 特定健康診査・特定保健指導の基本的考え方

日本内科学会等内科系 8 学会が合同でメタボリックシンドロームの疾患概念と診断基準を示しました。これは、内臓脂肪型に起因する糖尿病、高脂血症、高血圧は予防可能であり、発症した後でも血糖、血圧をコントロールすることにより重病化を予防することが可能であるという考え方を基本としています。

メタボリックシンドロームの概念を導入することにより、内臓脂肪の蓄積や、体重増加等が様々な疾患の原因になることをデータで示し、健診受診者にとって生活習慣の改善に向けての明確な動機付けができるようになります。

また、保健指導では生活習慣病予備群の生活習慣病に移行させないことを第一の目的とし、対象者自身が健診結果を理解して自らの生活習慣を変えることができるように支援することにあります。

2 特定健康診査・特定保健指導の実施に係る留意事項

特定健診・特定保健指導の対象である 40 歳以上の被保険者については、特定健診項目を含む一元的な健康診査を引き続き当健保組合が実施します。

被扶養者に関しては、契約健診機関を一層拡充させ、更なる利便性の向上に努めます。当健康保険組合が主体となって特定健康診査を行いそのデータを管理します。また、受診促進のため、事業主及び健診機関を通じての PR 等行います。

特定保健指導は、複数のアウトソーシング先を利用し、実績を考慮のうえ随時見直し図っていきます。

3 事業主等が行う健康診断及び保健指導との関係

事業主と当健康保険組合は共同で健康診断の運用を行います。健診費用については、労働安全衛生法に規定の項目は事業主が負担し、組合は事業主へ労働安全衛生法に関わる健診データを提供します。

保健指導においては当健康保険組合と事業主の協議のうえ事業主で実施する方と委託業者へ契約して実施する方を選別していきます。

第4期特定健康診査等実施計画

第二 特定健康診査等の実施及びその成果に係る目標に関する基本的な事項

1 特定健康診査の実施に係る目標

令和11年度における特定健康診査の実施率(被保険者+被扶養者)を87%とします。

この目標を達成するために、令和6年度以降の実施率(目標)を以下のように定めます。

目標実施率 (％)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
被保険者	90%	90%	90%	90%	90%	90%
被扶養者	63%	66%	69%	72%	74%	75%
全体	84%	84%	85%	86%	86%	87%

2 特定保健指導の実施に係る目標

令和11年度における特定保健指導の実施率55%以上とします。

この目標を達成するために、令和6年度以降の実施率(目標)を以下のように定めます。

目標実施率(被保険者+被扶養者) (％)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
動機付支援	54%	57%	59%	61%	64%	66%
積極的支援	54%	57%	59%	61%	63%	66%
全体	54%	57%	59%	61%	64%	66%

※40歳以上対象者、対象者数、目標実施者数は推計値

3 特定健康診査等の実施の成果に係る目標

令和11年度における肥満解消率を16%以上とします。

第4期特定健康診査等実施計画

第三 特定健康診査等実施計画の作成に関する重要事項

1 達成しようとする目標

上記「第二 特定健康診査等の実施及びその成果に係る目標に関する基本的な事項」のとおり

2 特定健康診査等の対象者数

① 特定健康診査の対象者数

被保険者

(人)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
対象者数(推計値)	5,296	5,858	6,096	6,297	6,491	6,651
目標実施率(%)	90%	90%	90%	90%	90%	90%
目標実施者数	4,766	5,272	5,486	5,667	5,842	5,986

被扶養者

(人)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
対象者数(推計値)	1,649	1,824	1,874	1,907	1,937	1,952
目標実施率(%)	63%	66%	69%	72%	74%	75%
目標実施者数	1,039	1,204	1,293	1,373	1,433	1,464

被保険者＋被扶養者

(人)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
対象者数(推計値)	6,945	7,682	7,970	8,204	8,428	8,603
目標実施率(%)	84%	84%	85%	86%	86%	87%
目標実施者数	5,805	6,476	6,779	7,040	7,275	7,450

② 特定保健指導の対象者数

被保険者＋被扶養者

(人)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
動機付け支援対象者	632	697	724	745	765	781
実施率(%)	54%	57%	59%	61%	64%	66%
目標実施者数	343	394	426	455	486	514
積極的支援対象者	632	699	726	747	767	783
実施率(%)	54%	57%	59%	61%	63%	66%
目標実施者数	343	395	427	456	486	515
保健指導対象者 計	1,264	1,396	1,450	1,492	1,532	1,564
実施率(%)	54%	57%	59%	61%	63%	66%
目標実施者数 計	686	789	853	911	972	1,029

3 特定健康診査・特定保健指導の実施方法

(1) 実施場所

特定健康診査は、契約医療機関で人間ドックや生活習慣病健診に包含して実施いたします。
特定保健指導は複数のアウトソーシング先を利用し、実績を考慮のうえ適宜見直しを行います。

(2) 実施項目

実施項目は、標準的な健診・保健指導プログラム第2編第2章に記載されている健診項目とします。

(3) 実施時期

実施時期は、通年とします。

(4) 委託の有無

ア 特定健康診査

基本的に契約健診医療機関を利用します。

イ 特定保健指導

基本的に標準的な健診・保健指導プログラム第3編第6章の考え方にに基づきアウトソーシングします。

(5) 受診方法

特定健診診査は、受診者が契約健診医療機関から受診を希望する医療機関を選定し、受診日等を予約のうえ受診していただきます。

受診時の窓口負担は無料としますが、契約限度額を超えた場合や、規定の検査項目以上を受診した場合は、その費用は受診者の個人負担とします。

特定保健指導は、健康保険組合が契約する保健指導機関の保健師等を活用し、特定健康診査結果の階層化を行い、対象者に受診方法を案内します。

(6) 周知・案内方法

周知は、当健康保険組合ホームページに掲載して行います。

これに併せて、特定健診診査は被保険者に対しては事業主経由でも周知を図り、被扶養者に対しては案内ハガキを送付します。特定保健指導は保健指導機関より対象者に案内を行います。

(7) 特定保健指導対象者の選出の方法

実施基準第4条の規定において選出された特定保健指導対象者は、原則、すべて対象者とし特定保健指導の案内を行います。

第4期特定健康診査等実施計画

4 個人情報の保護

当健康保険組合は、CTC グループ健康保険組合個人情報保護管理規程を遵守します。

当健康保険組合及び委託された健診・保健指導機関は、業務によって知り得た情報を外部に漏らしません。

当健康保険組合のデータ保護管理者は常務理事とし、またデータの利用者は当健康保険組合の職員に限ります。

外部委託する場合は、データ利用の範囲・利用者等を契約書に明記します。

5 特定健康診査等実施計画の公表・周知

本計画の周知は、各事業所に実施計画書を送付するとともに、ホームページに掲載します。

6 特定健康診査等実施計画の評価及び見直し

想定した状況との乖離がある場合、又、その他必要がある場合には、当計画については、データヘルス計画と併せて目標値を見直すこととします。

7 その他

当健康保険組合に所属する職員に特定健康診査・特定保健指導等に関して、その目的、重要性を認識させるための研修に随時参加させます。

以 上